



平成 25 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 柿本 敏男
(コード番号 2531 東証、大証 第1部)
問 合 せ 先 財務・IR部長 掛見 卓也
T E L (0 7 5) 2 4 1 - 5 1 2 4

投資単位の引下げに関する考え方及び方針等について

1. 投資単位の引下げに関する考え方

株式投資単位の引下げは、株式の流動性向上及び投資家層の拡大のための有効な手段であると考えております。

2. 投資単位の引下げに関する方針

投資単位の引下げにつきましては、当社株式の株価水準、出来高、株主数及び実施に伴う費用等を考慮し、株式市場の動向、投資単位の分布状況に注視しながら引き続き慎重に検討してまいりたいと考えております。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。